

二〇二四年度 北陸大学一般選抜（本学独自方式） A日程問題

（二月三十一日実施）

# 国語

（注意）

- 一、問題冊子は本文8ページ、解答用紙は2枚（解答用マークシート1枚と記述式解答用紙1枚）。
- 二、マークシートの問題は、解答欄1から9のあてはまる選択肢の枠内をぬりつぶすこと（複数解答は無効）。
- 三、他の問題の解答は、記述式解答用紙の指定の欄に記入すること（\*内には記入しないこと）。
- 三、解答用マークシート・記述式解答用紙は、持ち帰ってはならない。
- 四、試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。
- 五、コピー及び二次利用は行わないこと。

「二」 次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

なぜいま日本でウェルビーイング、特に幸せという意味の主観的ウェルビーイングが注目されているのでしょうか。それには学問的な理由と社会的な理由があります。学問的理由は、主観的ウェルビーイングについての研究が盛んに行われるようになり、理解が深まってきたことにあります。

一九八〇年代以来、心理学者を中心としてさまざまな研究が行われており、最近では研究論文の数も急激に増えています。特にウェルビーイング&ハピネスという研究分野では、米英を筆頭に欧米がこの分野をリードしています。それに近い分野として（中略）ポジティブ心理学の研究も進みました。

これらによって、例えば幸せな人は創造性が三倍高いこと、生産性が一・三倍高いこと、寿命が七年から一〇年長くしかも健康であることなどがわかってきました。これらが社会に知られるにつれ、ウェルビーイングへの注目が集まってきたといえるでしょう。

もう一つの社会的な理由は、時代の変化とともに地位財から非地位財へと価値観が移ってきたことにあります。地位財とは、カネ、モノ、地位のように、他人と比べられる財です。これに対して非地位財とは、幸せや健康など、他人と比べるものではなく自分のなかで昇華させる財です。A、モノの豊かさから心の豊かさへと時代の要請が変化してきたということです。この価値観の変化は、二〇世紀の終わりにはすでに起きていました。モノの豊かさを目指していた右肩上がりの時代は高度成長期までで、日本では少子高齢化が進んでいます。世界的にも、環境問題や貧困・格差の問題など、単なる右肩上がりの成長を目指すべきではない理由がいろいろと生じています。すでに成長の限界が来ているのです。

以上のように、学問的にウェルビーイングに関する多くの研究が行われてきたことと、社会の大きな流れが合わさって、いまウェルビーイングに注目が集まっているのです。（中略）

二〇三〇年までの世界の行動指針であるSDGsの目標、その三番目に「Good Health and Well-Being」（すべての人に健康と福祉を）があります（この）ではウェルビーイングは福祉と訳されています。この扱いからすると、ウェルビーイングはSDGsの一部と見ることもできます。しかし、SDGsで取り上げられたウェルビーイングは、「健康」と「福祉」の意味合いが強いというべきでしょう。

B、本書で扱うウェルビーイングは「健康、幸せ、福祉」を包含した概念ですから、SDGsの上位概念だと考えることもできます。

なぜなら、貧困も飢餓もなく、健康で豊かな教育が授けられ、快適な環境での生活が維持されるなど、人類に限らず地球上のすべての生物がよりよく生きるためにSDGsの各目標があると考えらるならば、一七あるSDGs目標全体を包括するものが人類や生物のウェルビーイングであると捉えられるから

です。

いま、SDGsが注目を集めています。貧困、飢餓、教育、差別、食料、衛生、エネルギーや環境問題などに、世界規模で取り組もうというものです。アダム・スミス以来のCの考え方の基本は、個人が、あるいは国が、それぞれ自分の成長だけを目指して勝手に行動すれば、市場原理によって全体としての成長につながる、というものでした。

D、地球に人間の好き勝手を許す余裕がなくなってきた現在、貧困や飢餓、食料や環境の問題は、それぞれが勝手にやっていたのでは解けない段階まで来てしまっています。だから世界中で地球規模の観点から、SDGs目標のゴールを目指そうという機運が高まっているのです。

自分の豊かさだけを追い求めるという従来の価値観が通用しなくなり、地球規模でよりよい社会をつくるという規範を設けなければならない時代が来ている一つの証左が、SDGs活動といえます。

人々がより幸せに生きるためのよりよい社会をつくる。これこそ、広い意味でのウェルビーイングであり、一七の目標を包含する上位概念といつてよいのではないだろうか。

他方で、ソサエティ5・0という考え方もあります。狩猟採集社会がソサエティ1・0、農耕社会が2・0、産業革命による工業化社会が3・0、そして情報化が4・0。次に来る5・0は、サイバー空間とデジタル空間を高度に融合させたシステムを用いて、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会を目指すものです。

本来、どのフェーズも人間が中心にいないはずですが、工業化によって労働させられる立場になったり情報化に翻弄されたりと、徐々に人間の主体性が失われたという反省のもとに、ソサエティ5・0は、まさに人間が主役となる社会にすべきではないかと、日本が目指すべき未来社会の姿として第5期科学技術基本計画でも提唱されています。この動きもウェルビーイング社会の到来と捉えることができます。

人類は、狩猟採集から農耕へと成長を目指し、農耕のなかでも単位面積当たりの収穫量を増やすなど、さらなる成長を目指した末に、産業革命による工業化で飛躍の成長を遂げ、情報化社会では人間の一層の能力拡大を目指すなど、飽くなき拡大路線をひた走ってきました。

しかし、ここへ来てようやく拡大ではなく調和を目指すとする動きが出てきています。これはウエ<sup>ウ</sup>農耕革命以来の大きな変化といえるでしょう。そしてそれがウェルビーイングの時代ともいえるべき段階なのです。

一、 傍線部アについて、「昇華」の意味として最もふさわしいものを、次の選択肢から一つ選びなさい。

(マークシート解答欄1)

- 1 物事の成果がみること
- 2 物事がさらに高次の状態へ一段と高められること
- 3 育つて成熟すること
- 4 処理すべき物事を残らず始末すること
- 5 物事が最も充実した時期に達すること

二、 空欄  ・  ・  に入る接続語として、最もふさわしいものを、次の選択肢から一つずつ選びなさい。

(マークシート解答欄2～4)

- 1 一方
- 2 しかし
- 3 そして
- 4 つまり
- 5 そこで
- 6 したがって
- 7 ところで

三、 傍線部イについて、本文中の内容に即した具体的な説明を二〇字以上四〇字以内で記述式解答欄に書きなさい。

四、 空欄  に入る語句として、最もふさわしいものを、次の選択肢から一つ選びなさい。

(マークシート解答欄5)

- 1 社会主義
- 2 民主主義
- 3 資本主義
- 4 国家主義
- 5 共産主義

五、 傍線部ウについて、「大きな変化」とは何か本文中から一八字で抜き出して記述式解答欄に書きなさい。

六、 本文全体を通して、筆者が考えるウェルビーイングについて本文を具体的に引用しながら、五〇字以上七〇字以内で記述式解答欄に書きなさい。

「二」 次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

文部科学省に勤める知り合いから、意外な話を聞きました。国の留学支援事業が、アあまりうまくいっていないというのです。「返済不要、数百万円支給」というかなりの好条件を提示したので、大学生の応募が殺到すると思っていたのに、定員割れになっているとのことでした。

世界の多様な価値観を理解し、地球規模でものを考えられなければ、持続可能な社会を担っていくのは難しいと言われる時代ですが、「学生たちが留学したがるらない」という話は、大学の先生からもよく耳にします。もちろん、経済的な理由で行きたくても行けないという学生もいます。しかし「わざわざ海外に行かなくても、その気になれば国内でも外国人の留学生と触れ合えるから、それで十分」と考えている学生も少なくないようです。

確かに数十年前と比べれば、日本に来る外国人留学生の数はずいぶん増えました。日本を訪れる観光客も増加しており、町中で外国人の姿を見るのも珍しくなくなりました。観光地でない場所でも、こちらの語学力にお構いなく、英語で話しかけられることもしばしばです。外国人と交流するという側面だけを捉えれば、接触の機会は間違いなく増えています。国内にいながらにして、コストパフォーマンスよく視野を広げられるようになったのですから、とても恵まれた時代には違いありません。

**A**、ホームグラウンドである日本国内で外国人に会うのと、海外で出会うのは同じことなのでしょうか。私には留学経験がなく、たまに海外出張や旅行に行く程度なので、偉そうなことは言えませんが、生活習慣でも食べ物でも、海外では過去の自分の経験が役に立たない場面にたびたび遭遇そうぐうします。国内の大学で、外国人と話をする機会に恵まれたとしても、学校の外に一步足を踏み出せばそこは日本です。人にものを尋ねたり、積極的に人と関わったりしなくても、生活に困ることはありません。

ただ、私たちを取り巻くこの便利さが、挑戦する気持ちや他者と関わる意欲を衰退させている可能性はないでしょうか。当たり前前に存在する身の周りの環境に自覚的またになつてみると、新しい気づきがあるかもしれません。

なにも世界を股またにかけて活躍する「グローバル人材」を目指さなくてもいいんです。目的がはっきりしないまま海外に飛び出しても、多様で異質なものと出会いは待っています。大切なのはその時に何を感じ、何を学び取るかです。自らつかみ取らなければ、機会は訪れられません。取材で知り合った保育園の園長さんの留学体験には、若い人にぜひ聞いてもらいたいエッセンスが詰まっていたので、ご紹介したいと思います。

「粹が一つ余っているから行って見ない？」。佐賀市で保育園の園長をしている吉村直記なおきさんは、佐賀県立高校の二年生の時、地元のロータリークラブの知り合いから交換留学の誘いを受けました。その時は深く考えもせず、えいやで手を挙げてしまったそうです。行き先は米国国境に近いメキシコのティファナという町でした。空気は乾燥していて、車が通るたびに土ぼこりが巻き上がります。道路の両脇りょうわきにはタクスの屋台が立ち並び、車が信号待ちをしていると、ストリートチルドレンが群がってきて、窓拭きまどふきをしては小銭を稼いでいました。

現地に到着すると、ホストファミリーの母親から「あなたは私の息子の代わりだから、同じように家での役割を果たしてもらおうよ」と厳しく言われました。庭の掃除や炊事、洗濯が自分の仕事になりました。英語は多少できましたが、家での会話はスペイン語が基本です。ひたすら辞書を開き、単語を覚える日々が続きました。初めの二、三か月は学校の友達ともうまく意思疎通そつうができず、家と現地の高校を往復するだけでした。せっかく留学したのに、来る日も来る日も勉強漬けの毎日。でも、そのおかげで言葉は少しずつ分かるようになりました。話ができるようになると、友人の数も自然に増えていきました。

一か月かけてメキシコ全土を回るバスツアーがあり、一人のブラジル人留学生と仲よくなりました。年は一歳下でしたが、細やかな気配りができる日本人などところがあり、意気投合するようになりました。バスでは毎日隣の席に座って「将来は医者になりたいと思っています」「自分は学校の先生を考えている」と、夢を語り合いました。

ある時、彼に「日本人は消極的だと思っていたけど、君は積極的に思い描いていた日本人像とは違う」と言われました。そういう彼自身も「ラテン系で陽気なブラジル人」というイメージとはずいぶん違って、冷静で思慮深い人物でした。彼と出会ったおかげで、どこの国の留学生と出会っても、国籍で相手を決めつけるような紋切り型の先入観を持つことはなくなりました。

留学の最後に一年間の成果を報告する会がありました。現地のロータリークラブの会長に彼と二人だけで呼ばれ、「もし日本とブラジルの関係が険悪になったとしたら、直記はブラジルと戦争がしたいか」と尋ねられました。もちろん戦争など嫌に決まっていますが、重ねて理由を問われました。「それはどうしてなのか」と。その時、自然に出てきたのは「**I**」という言葉でした。友人の答えもまったく同じでした。

それまでは「語学留学だから、語学だけ身につければよい」と漠然ぼくぜんと考えていましたが、会長が求めているのは別のことでした。「相手のことを知っているから、その出身国についても思い描くことができる。戦争しないという具体的な行動にもつながられる。それこそが交換留学をする真の意味なんだ」という教えを胸に刻みました。

現地で伸ばしたひげはそのままにして帰国すると、復学した高校では服装検査が待っていました。教員が女子生徒のスカート丈を一センチ単位で測って指導する様子にあぜんとしていたら、自分も「すぐにひげを剃るように」と注意されました。一人一人の違いを大切に作るメキシコの教育とは正反対のことが、目の前で行われていました。

現地の高校にも制服はありましたが、生徒は好きなマークを縫い付けたり、着崩したりして、ごく自然に個性をアピールしていました。「なぜ、違いを違いとして認められないのだろう」。ウ何とも言えない居心地の悪さに襲われました。留学するまで気にとめることのなかった日常は、もはや自分にとって「当たり前」ではなくなっていたのです。

(名古屋隆彦『質問する、問い返す―主体的に学ぶということ』より一部改変)

一、傍線部Aについて、筆者がうまくいっていないと考える理由を三〇字以上五〇字以内で記述式解答欄に書きなさい。

二、空欄 A に入る接続詞を、次の選択肢から一つ選びなさい。

- 1 したがって
- 2 そして
- 3 しかし
- 4 もっとも

(マークシート解答欄 6)

三、傍線部Iについて、反対の意味を表す言葉を記述式解答欄に書きなさい。

四、空欄 I に入る文章で最もふさわしいものを、次の選択肢から一つ選びなさい。

(マークシート解答欄 7)

- 1 戦争に勝者はいないから
- 2 国際社会から排除されるから
- 3 損失が大きいから
- 4 彼がいるから

五、傍線部ウについて、筆者が「居心地の悪さ」に襲われた理由を、次の選択肢から一つ選びなさい。

(マークシート解答欄8)

- 1 復学した高校が多様性を重視していたから
- 2 ブラジルとは正反対の教育が行われていたから
- 3 女子生徒が指導される姿を見たくなかったから
- 4 高校が生徒の個性を尊重していなかったから

六、本文の内容として誤っているものを、次の選択肢から一つ選びなさい。

(マークシート解答欄9)

- 1 海外では、多様で異質なものとの出会いがある。
- 2 私たちを取り巻く便利さが、挑戦する気持ちや他者と関わる意欲を衰退させている可能性がある。
- 3 メキシコ人との出会いによって、国籍で相手を決めつけるような紋切り型の先入観を持たなくなった。
- 4 メキシコの教育は、一人一人の違いを大切にしている。

七、吉村さんが園長をしている保育園の教育理念はどのようなものか。吉村さんが留学で学んだことを踏まえ、二〇字以上四〇字以内で記述式解答欄に書きなさい。

〔三〕 以下の問いに答えなさい。

一、 次の傍線部について、漢字の読みをひらがなに、カタカナを漢字に直して、記述式解答用紙に書きなさい。

- 1 ご注文を承りました。
- 2 非効率で煩雑なお役所仕事。
- 3 原因を詮索する。
- 4 データを遡及して改定した。
- 5 相手を懐柔する。
- 6 マタタク間に時は過ぎ去った。
- 7 病院でシンサツを受けた。
- 8 誰かがいたケイセキがあった。
- 9 彼はこの辺りの地理にクワしい。
- 10 試合に負けてクヤしい。

二、 次の四字熟語やことわざについて、□にあてはまる漢字を、記述式解答用紙に書きなさい。

- 1 温□知新の精神を持つ必要がある。
- 2 千□一遇のチャンス。
- 3 試合展開に一喜一□した。
- 4 □水盆に帰らず。
- 5 笑う□には福来る。